



公共交通を利用して

地域交通と地球環境を守りましょ

問い合わせ 大竹市地域公共交通活性化協議会（自治振興課内） ☎92142

地域の交通を考える 「モビリティ・マネジメント」

「モビリティ・マネジメント」という言葉を初めて耳にする方も多いのではないのでしょうか。
「モビリティ」という言葉は、「移動や交通」を意味し、「このまちのモビリティ」といえば、「このまちの日々の交通の様子」を意味します。

また、「マネジメント」とは、「いろいろな工夫を重ねながら、少しずつ状況を改善していく取り組み」を意味します。

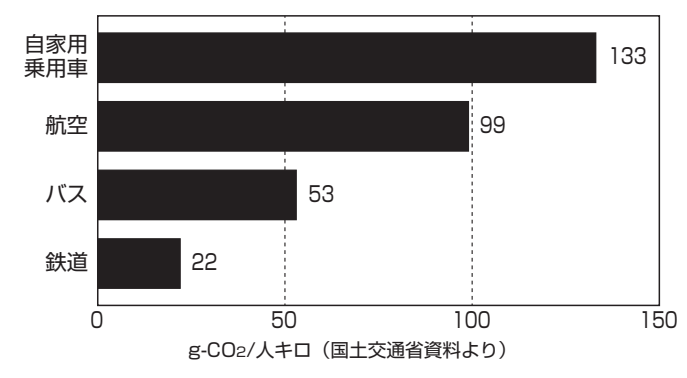
つまり、「モビリティ・マネジメント」とは、「一人ひとりの移動や、まちや地域の交通のあり方を、工夫を重ねながらより良いものに改善していく取り組み」のことです。



私たちの生活と 「地域の公共交通」

公共交通は、自動車を運転できない高齢者や子どもなどにとっては、遠くに行くために欠かせない移動手段です。もし地域の公共交通がなくなると、地域の高齢者や子どもなどは、自分一人では行きたいところに行くことが難しくなってしまう。公共交通は、自動車と違って、環境にとってもやさしいのが特徴です。地域の人みんなが公共交通を使うことは、それだけで地球温暖化対策にもつながります。

輸送量当たりの二酸化炭素の排出量（旅客）（平成26年度）



一人ひとりの 「気づき」を促そう

私たちの移動は、社会全体にもいろいろな影響を与えています。例えば、自動車を使うとたくさんの二酸化炭素が出ます。しかし、多くの人はこのことを深く考えずに自動車を使い続け、地球温暖化を進行させてしまっています。

また、多くの地域で、利用者の減少により、バスや鉄道が廃止になっていきます。例えば、地域の方が月1回だけでも利用すれば存続できていたという路線は日本中にたくさんあります。

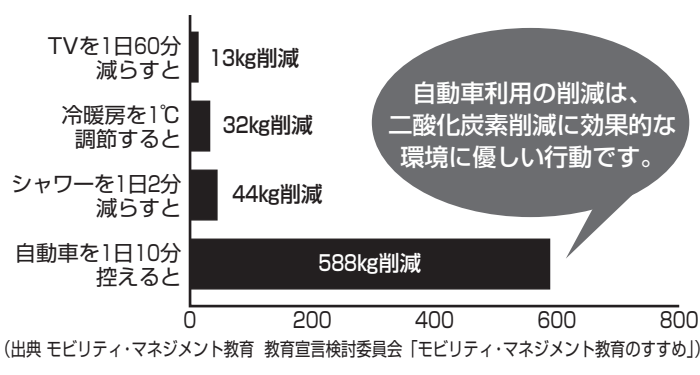
一人ひとりがこうしたことに気づき、自らの「移動」（モビリティ）を少しずつも見直していくことは、社会にとっても大切なことです。モビリティ・マネジメントは、そうした一人ひとりの「気づき」を促し、少しずつでも行動を変えようという「小さな実践」により、地域全体の交通を良くしていくという取り組みです。

「車社会」について考えよう

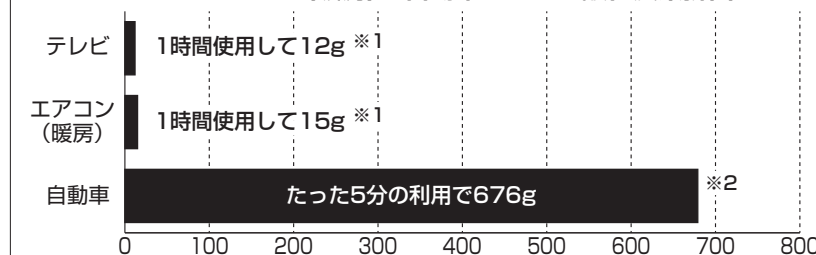
私たちの暮らしと自動車は切っても切れない関係にあります。しかし、自動車をいすぎると、渋滞や事故、そして地球温暖化といった問題が生じてしまいます。

車社会は私たちの生活を豊かにしている反面で、環境にとっては必ずしも良いこととは言えません。大竹市にも鉄道やバスなどの公共交通が整備されています。私たちの将来の地球環境を守るためにも、かしこく自動車とつきあう方法を考えていきましょう。

1年間で削減できる二酸化炭素の量



テレビ・エアコン（暖房）・自動車からの二酸化炭素排出量



※1 チャレンジ25キャンペーンホームページ「うちエコ！」サイトより
※2 平均旅行速度：35.3km/h（平成17年度道路交通センサス、国土交通省）、燃費：10km/ℓ、ガソリンの二酸化炭素排出係数：2.3kg・CO₂/ℓで試算
（出典 モビリティ・マネジメント教育 教育宣言検討委員会「モビリティ・マネジメント教育のすすめ」）

台風・荒天時などの

バスの運行について

市内を運行するバスとして、こいこいバス、大竹・栗谷線バス、坂上線バス、楽しむりんぱバスがあります。

原則として、バスは決まった時刻に決まったルートを運行しますが、台風や荒天時などには運休や折り返し運行などを行うことがありますので、ご注意ください。

また、台風や荒天時のほか、土砂崩れや倒木、踏切事故などにより運休する場合があります。

降雨量が基準を超えた場合の通行止め解除は、雨が上がり、道路管理者（県）がパトロールにより通行の安全を確認した後にあります。

運行内容が変わるときには、防災無線やバス停への表示などで情報提供します。ご不明な点などは運行業者へ問い合わせてください。

【運行業者】

- こいこいバス (有)大竹交通 ☎5141
- 大竹・栗谷線バス (有)大竹タクシー ☎3131
- 坂上線バス (有)大竹タクシー ☎3131

坂上線バスの運行ルート 運行ダイヤが変わります

防鹿トンネル西側（栗谷側）交差点の改良工事に伴い、防鹿地区内の運行ルートが変わります。

変更時期

8月～平成29年2月予定
※ 変更時期は工事の進捗状況により異なります。決定次第、バス車内などでお知らせします。



ダイヤや運賃表は各バスの車内、自治振興課、各支所で配布しています。また、市ホームページにも掲載しています。

こいこいバス

台風などにより高潮の恐れがあるときは、市道飛石1号線の防潮扉が閉まり、運行ルートの一部が通行止めになるため、「飛石港」バス停に停まらずに運行します。

大竹・栗谷線バス

降雨量が基準を超えたときは、県道栗谷大野線の一部が通行止めになるため、「渡の瀬」から「西医療センター（大竹駅）」間を折り返し運行します。

坂上線バス

降雨量が基準を超えたときは、国道186号の一部が通行止めになるため、「深瀬」から「大竹駅」間を折り返し運行します。

